

補足資料

都市科学シンポジウム実行委員会開催等の概要

2021年7月13日：キックオフミーティングに向けての打ち合わせ

シンポジウムの企画について藤掛・石川・永田で下打ち合わせ

2021年7月25日：キックオフミーティング：検討事項のリストアップ

ミッション案、方針案（学生たちが主体的に参加するシンポジウム）、広報方針案（HPならびに動画作成、アーカイブを作成）、第一部案（テーマ案、発表形式）、学生実行委員の提案（学生スタッフとして運営に積極的に関与）、都市科学Cの授業第8回目として実施案、開催日時案（2022年2月19日（土））、開催場所案（図書館メディアホール/教育文化ホールを検討）、開催方法案（対面オンラインのハイブリッドを検討）、第二部パネル展示案（パネル展示運営スタッフ選出、出展者案）

2021年8月6日（金）：学生実行員の決定等

学生実行員決定「入江（都市社会共生）、田名（都市社会共生）、猪俣（環境リスク共生）」、対面シンポジウムにおけるオンライン併用案の検討、第二部のSpatialChat検討、第一部のZoomエンタープライズ版検討

2021年8月27日（金）：実施方法の検討等

実行委員会新メンバー決定「下出：Zoomウェビナなどオンライン配信運営サポート」、第一部における学生からの質問方法（Slido、Slack、CommentScreen）を検討、実施方法の変更（コロナ状況を鑑みて、第一部・第二部オンライン配信限定）

2021年9月10日（金）：基本方針の決定

開催候補日時（2022年2月19日（土）13時～）、2021年度は都市科学Cの8回目授業として実施、シンポジウム第一部実施方法（パネルディスカッション決定、実施方法：Zoomウェビナ形式決定）、第一部質疑応答案は引き続き検討（ZoomのQ&A案、CommentScreenまたはSlidoにて随時コメントし画面に表示（都市科学部学生・教員限定））、YouTubeライブ配信によるシンポジウムの一般公開）、シンポジウム第二部（ポスターセッション実施方法：Spatial Chat、アーカイブ：各プレゼンを後日配信、Zoom説明会、1次締め切り（案）2022年1月中旬、2次締め切り（案）2022年2月あたま）、懇親会（実施方法：Spatial Chat）、ポスター作製方針

2021年9月30日(木): 第二部実施方法等について検討

シンポジウム第二部(ポスターセッション実施方法: Spatial Chat&外部リンクを活用、アーカイブ: 各プレゼンを後日配信、学生の発表募集、共通テーマ(都市科学部をビジュアライズ)、発表者以外に参加者も主体的に参加できるしくみを学生実行委員で検討、建築学科(羽沢 国大: 模型プロジェクト)参加依頼)、シンポ準備過程をTwitterやInstagramなどのSNSで発信する方針を決定

2021年10月14日(木): 第二部登壇者について検討

都市科学シンポジウム: 都市科学を文理融合で探求、梅原学長に冒頭のご挨拶(依頼)、プログラム構成、ポスター12月完成目指す、シンポジウム第一部パネルディスカッション(藤掛(話題提供)・石川(司会)・田中・松本・学生)、第一部業者に外注方針決定、シンポジウム第二部(ポスターセッション(都市科学部生)、準備状況説明、学生の発表募集、卒業生まで拡大、学生枠、教員枠、卒業生枠
都市基盤: 学生主体の見学会の活動例(現地見学、バーチャル見学: 田中)、Twitter Instagram SNSの名称: 都市科学シンポジウム

2021年11月4日(木): 参加対象者や周知方法

Zoomエデュケーションは最大500人、Spatial ChatのDay Passは150人から1000人超えまで参加人数をカスタム可能、参加人数、YouTubeでライブ配信の配慮するべき点、2021年度刊行: 報告書案(2月末完成、3月末納品)、2022年度刊行案(夏休みに書籍出版目指す)

2021年11月25日(木): テーマ決定

シンポジウムの統一テーマ(都市を複眼的に思考する)、第一部(複眼的思考から読み解くパラグアイのスラム: コミュニティ・国家・南米大陸(藤掛話題提供、パネリスト田中・松本・三浦・石川(司会)))、第二部テーマ(都市科学/都市科学部をビジュアライズする)、都市科学シンポジウムTwitter 運用(永田)、Slido or CommentScreen 検討(入江)、第一部Zoom&Slido or CommentScreen(学生教員向け)検討、YouTubeライブ配信とGoogle-Formで質問受付(一般参加向け)、YouTubeライブ配信で外部にもリアルタイムで公開、ポスター進捗報告(デジタルポスター)、必要項目(QRコード)、参加申込案(都市科学部2-4年生、他学部、院生: GoogleForm 希望先着順(所属、学年、ynuメール、一部、二部、懇親会))、12/8教授会でテーマと開催日時等をアナウンス

12月13日(月): Twitter 運用開始

https://twitter.com/cus_symposium (永田)

2021年12月22日(水): 項目チェック漏れなど確認

HP掲載のシンポジウム趣旨説明(藤掛が最終案作成)、ポスター進捗報告(村瀬氏にデザイン依頼済み、1月7日完成予定、デジタルポスター、QRコード、都市科学部HPに必要項目を掲載、取りまとめ永田)、第一部の質問実施案(学生スタッフ1名がSlidoによるコメントをピックアップ紹介)

2022年1月6日(木): ポスターの進捗など

HP掲載のシンポジウム趣旨説明(藤掛)、ポスター印刷掲示場所検討

2022年1月20日(木): 今後の確認

趣旨説明: 藤掛の最終案完成、ポスター報告、業者との今後の打ち合わせ予定確認(下出、永田)、GoogleFormから大学の申し込みシステムへの変更報告(永田)、第二部に関する進捗状況(学生実行委員)、シンポジウム報告書作成方針(年度中印刷)

2022年1月27日(木): 第二部登壇者

第二部登壇者(各学科から声かけ最低5-6件、合計40人目指し各学科8人前後の紹介依頼)

2022年2月3日(木): 第二部登壇者の進捗

第二部の進捗、羽沢国大プロジェクト、各学科の声かけ状況確認、各学科8件程度(再確認)

2022年2月10日(木): 第二部登壇者の進捗

第二部登壇リスト確認

2022年2月14日(月): 接続テスト

2022年2月17日(木): 第二部登壇者などの進捗

申し込み状況(永田)、都市科学シンポジウム開催にあたっての各学科内学生(2年生以上)へのお知らせについて(永田)、進行スケジュール確認、ロゴマーク表彰者の来場、第二部登壇者リストのHP掲載

2022年2月18日(金): 第一部リハーサル

2022年2月19日(土): 都市科学シンポジウム当日

(12:00から最終確認、12:50にSlido利用説明(入江)、13時にシンポジウム開始)



実行委員会オンライン開催の様子。

上段左から入江・石川・藤掛、中段左から田中・松本・下出、下段左から三浦・猪俣・永田。

実行委員メンバー

【教員(専門/学科担当/所属)】

藤掛洋子(学部長/メインスピーカー)

文化人類学・開発人類学・ジェンダーと開発、パラグアイ地域研究/都市社会共生学科/大学院都市イノベーション研究院・教授

小池文人(副学部長)

生態環境学/環境リスク共生学科/大学院環境情報研究院・教授

石川正弘(実行委員長/司会進行兼パネリスト)

地球ダイナミクス、地球システム論、地質学/環境リスク共生学科/大学院環境情報研究院・教授

松本由香(パネリスト)

構造性能、終局挙動、耐震性能、鉄骨構造/建築学科/大学院都市イノベーション研究院・教授

田中伸治(パネリスト)

社会基盤、土木計画学、交通工学/都市基盤学科/大学院都市イノベーション研究院・教授

三浦倫平(パネリスト)

都市社会学、地域社会学/都市社会共生学科/大学院都市イノベーション研究院・准教授

下出信次(第一部運営)

生物海洋学、浮遊・底生生物学/環境リスク共生学科/大学院環境情報研究院・教授

樽沼範久(ロゴ表彰)

思想・表現の考古学、超都市理論/都市社会共生学科/大学院都市イノベーション研究院・教授

河端昌也

テンション構造、フィルム、空間構造、塑性、粘性、膜構造／建築学科／大学院都市イノベーション研究院・教授

清田友則

精神分析、現代思想、サブカル、セクシュアリティ／都市社会共生学科／大学院都市イノベーション研究院・教授

鈴木崇之

海岸工学、沿岸環境工学、水工学／都市基盤学科／大学院都市イノベーション研究院・教授

松田裕之

生態リスク学、海洋保全生態学、環境生態学、数理生物学／環境リスク共生学科／大学院環境情報研究院・教授

【学生スタッフ(学科・学年)】

入江遼斗(都市社会共生学科2年)

猪俣悠介(環境リスク共生学科3年)

田名麻衣子(都市社会共生学科3年)

【事務】

永田満里奈(理工学系都市系支援課都市管理係)